

ふくさき

議会だより

第120号

平成23年
11月17日

兵庫県福崎町議会



元気に“ワッショイ！”

(高岡保育所 10月17日)

9月定例会

22年度一般会計・特別会計決算を認定
財政調整基金残高が10億円に

2

常任委員会報告 総務文教・民生・産業建設

8

ここが聞きたい！一般質問（8人が町政を問う）

11

議会インタビュー 福崎町女性委員会

15

わたしもひとこと「県民交流広場の有効活用を」

16

認定

財政調整基金残高が10億円に

9月定例会は9月9日に開会し、21日間の会期で9月29日に閉会しました。

平成22年度一般会計及び国民健康保険、公共下水道事業特別会計決算認定など報告1件、議案16件が提案され、すべての議案を原案のとおり認定・可決しました。また、請願1件は採択し、意見書を関係機関へ送りました。

一般質問は、8人の議員が行政上の問題点をたずねました

特別委員会での主な意見

●歳出においては公共事業の大幅な削減もなく計画どおりに事業が進み、特に財政健全化に向けて公債の繰上償還がされていた。今後も財政運営には格段の努力が必要。

うな結果であつたかの記載がされていない。

●財政の効率化、有効活用のための会計情報は不可欠であるので、財務諸表の提出を決算審査に間に合わせる必要があるのではないか。

●決算報告書に事業執行のグラフが多く、どのよう

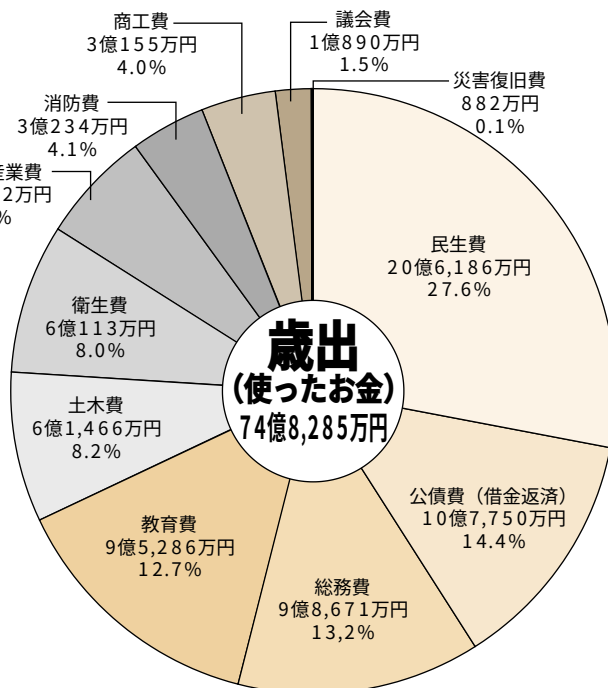
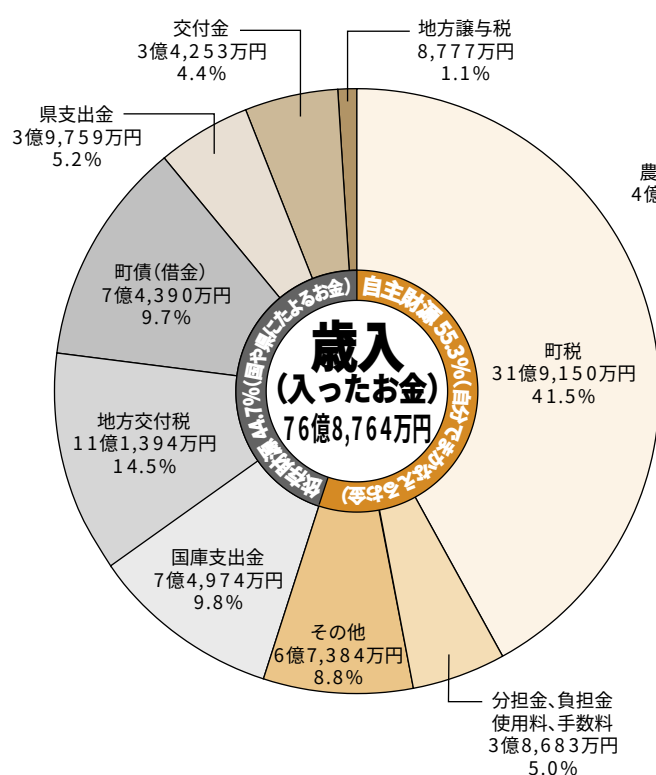
特別委員会での主な質疑

一般会計決算

問 商工会再建特別貸付金元金収入について、商

工会の決算書では1000万円となっているが、町の決算書では500万円となっているのはなぜか。

一般会計決算のなかみ



平成22年度決算を

答 商工会の会計年度は3月31日で終わりますが、町は5月31日まで出納整理期間があるため、収入の日付によって処理年度が変わるためです。

問 女性委員会からは具体的にどのような問題提起があったのか。

答 福祉、生活環境の改善、公園、歩道、信号などの質問、意見が多くありました。

問 納税組合については今後どのように考えているのか。

答 監査委員からも組合のあり方について指摘を受けています。近年、口座振替を推進していますので、廃止の方向で調整しています。

問 BCGの予防接種はほぼ100%の接種率だが、経口生ポリオの接種率は、同じ集団接種だが約17%低い。原因は。

答 BCGは健診と兼ね

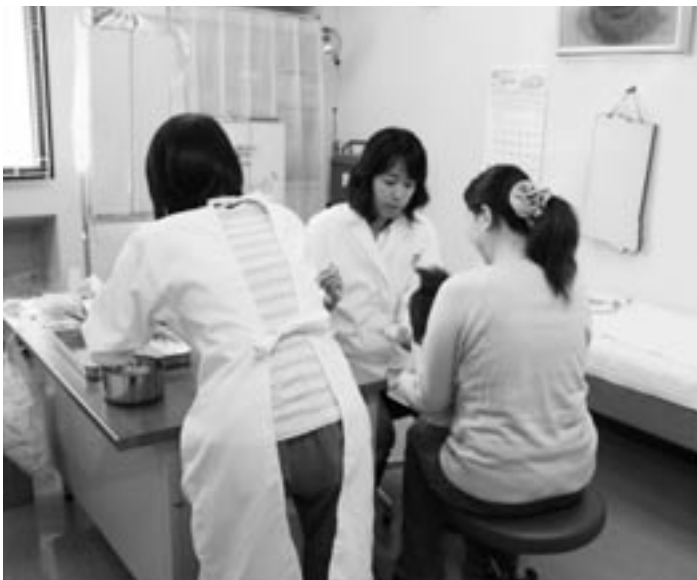
て実施するため接種率は高くなっています。経口生ポリオは年2回の接種であることや、22年度から始まったヒブワクチンや肺炎球菌ワクチンを優先的に行うという状況であり、接種率が低くなっています。

問 自殺対策事業の重要性は全国的にも言われている。把握はどのようにしているのか。

答 国、県を含め、まだしっかりした研究は進んでいないと思いますが、医療の問題だけでなく食育も含め、すべてにわたって対策を考える必要があるかと思っています。

問 道の駅建設計画の現状は。

答 平成23年8月に県の事業評価の実施予定でしたが、開催されませんでした。



集団接種

平成22年度 会計別決算状況

(1万円未満四捨五入)

会 計 名		歳 入 (入ったお金)	歳 出 (使ったお金)
一 般 会 計		76億8,764万円	74億8,285万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	18億4,534万円	18億3,639万円
	老 人 保 健 事 業	1,041万円	1,041万円
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	1億9,786万円	1億9,490万円
	介 護 保 険 事 業	11億9,641万円	11億8,383万円
	農 業 集 落 排 水 事 業	2億5,840万円	2億5,840万円
	公 共 下 水 道 事 業	17億 359万円	16億8,495万円
合 計		128億9,965万円	126億5,173万円

特別会計決算

問 国民健康保険における交通事故等による第三者行為損害賠償について、加害者が不明な事故についてはどうするのか。

答 加害者が分からないときは、判明するまで、とりあえず国保で保険給付します。

問 介護予防事業で新しく認知症予防教室が開催

されたが、その効果はどうか。

答 運動習慣をつけるため開催した筋力トレーニング教室はよかったと思います。認知症予防について、半数の人にその効果がみられました。

決算審査特別委員会

委員長 東森 修一
副委員長 北山 孝彦
委員 石野 光市
委員 宮内 富夫
委員 高井 國年



審議中の決算審査特別委員会

議案ごとの質疑

一般会計決算

災害時要援護者避難支援システムとは？

議員 災害時の要援護者の住宅や避難支援者、避難場所等を地図情報と組み合わせて視覚的に把握できる新システムに15万4748円計上されているが、具体的にはどういったシステムなのか。

健康福祉課長 住宅地図をパソコン上に取り込み、要援護者の自宅を地図情報に入力し、それぞれの住所、氏名、非常時の連絡事項等の個人情報进行管理するものです。

ふるさと応援寄附の件数は？

議員 ふるさと応援寄附金は562万5725円あったが、何件なのか。
企画財政課長 募金箱に入っているものを除き12件です。大きなものとしては工業団地協議会からの300万円です。



「未来のパパ・ママの支援教室」の内容は？

議員 新しく「未来のパパ・ママの支援教室」として事業を実施したとのことだが、その内容は、健康福祉課長 小・中学校に助産師を派遣し、命

の大切さをテーマに授業を実施し、思春期の性教育も兼ねた教育をしました。

乳幼児集団健診未受診者への周知は？

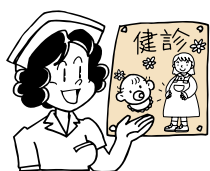
妊婦健診の助成方法は？

議員 乳幼児の集団健診は1歳6ヶ月児の受診率が94・3%、3歳児で95・8%となっているが、小さい頃からしっかりと受診し、健康を維持していくということが将来的に本人のためになると思う。受診されていない方への周知はどうしているのか。

健康福祉課長 保健センターから一人一人に電話し、次回に受診していただくようにしたり、追跡調査をしています。

議員 妊婦健診の助成事業に1人当たり4万2000円掛かっているが、現金支給なのか。
健康福祉課長 上限1回7000円の助成券を14枚発行し、無料で健診が受けられるようにしています。

健康福祉課長 保健センターから一人一人に電話し、次回に受診していただくようにしたり、追跡



巡回バスの効果は？



巡回バス「サルビア号」

議員 サルビア号を運行してから12年が経つ。運行と補助員の委託料を合わせれば年間約1100〜1200万円になる。1日平均36名 バスに乗られた方は乗って帰られるので、1日約20人程度と思う。費用対効果をどのように評価しているか。

健康福祉課長 巡回バスの年数も経ち、バスの買い換え等も含め、運行計画の再編成を検討しています。交通弱者、障がい者、高齢者のために運行しています。昨年のアン

ケートでは、町内の高齢者は自分の車をお持ちの方が多く、町民全体では8割程度の方は運転免許を保有されており、どれだけ利用者を増やすかが今後の課題です。

議員 デマンド交通の実験運行は実施しているか。

健康福祉課長 していません。公共交通会議である程度合意を得た上で、実証運転をしたいと考えています。23年度はまだ実証運転ができない状況で、来年度に向けて検討中です。

気功で心の健全化は図られるか？



気功教室

議員 近年、町内でも毎年数名の方が自ら命を落とされている。気功教室を通して心身のリラククスを図るとともに、心の健康づくりに努めたというのだが、気功によって自分自身の気持ちをリラックスさせることで心身の健全化は図られるのか。

健康福祉課長 自殺対策事業は、22年度から県と町が実施しています。町では従来から気功教室をしていましたが、自殺対策事業の補助を受けられることになりました。1時間半程度の気功の体操ですが、非常に心身ともにリラックスできるものです。

そのほかの対策としては家庭訪問をしたり、電話相談も受けています

コミュニティセンター運営事業の内容を検討すべきでは？



辻川界隈展

議員 コミュニティセンター運営委員会の委員数と、委員会の開催実績は総務課長 委員は21名で2回開催しています。

議員 22年度のコミュニティセンター運営事業の内容は、

総務課長 各自治会へのクリーン作戦の助成と、まちづくり青少年健全育成事業として、「銀の馬車道」人情喜劇を開催しました。

議員 コミュニティセンターの運営事業がクリーン作戦での各自治会への補助事業のみでよいのか。新年度予算編成の時に事業内容等を検討すべきでないか。また、観光協会の決算状況で特別会計が設けられているが、その設置目的と、今後の特別会計の事業は、

副町長 町制50周年の祭り屋台大集合の冊子や本町の特産品等の記念品の経費をこの会計で処理されています。今後の事業として「辻川界隈展」などの新しい事業展開にも工夫を凝らしたいと考えています。

財政調整基金の推移

	年度末現在高	増 減
18年度	7億6,110万円	△1億9,890万円
19年度	7億3,520万円	△2,590万円
20年度	6億7,760万円	△5,760万円
21年度	6億9,370万円	1,610万円
22年度	10億円	3億630万円

財政調整基金はどのくらいが理想？

議員 地方公交付税が2億2千万円増、また法人町民税の増収等により、単年度収支で4億9831万円の黒字となった。22年度は財政調整基金に

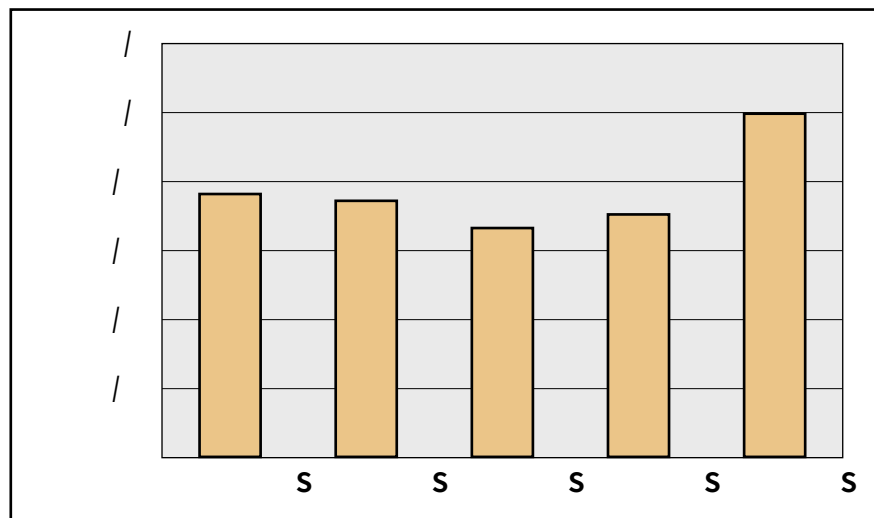
企画財政課長 国の地方財政対策に左右されます。また、歳出は大きく下が

議員 3億630万円積み立てた。基金残高はどのくらいが理想と考えるか。

る経費はありません。逆に下水道の元利償還が増となる要因もあり、現状10億円ありますので、このベースが今後も推移できればよいかと考えています。

*財政調整基金って？

自治体が財源に余裕がある年に積み立て、不足する年に取り崩すことで財源を調整し、計画的な財政運営を行うための貯金



行政評価はいつできる？

議員 事務事業の行政評価はいつできるのか。

企画財政課長 昨年4月に行政評価研修を行い、現在、ワーキンググループを結成しています。その中で一部施行に向けて進めていきたいと考えています。

議員 22年度のパラシートの提出は

企画財政課長 現在、作成に向けて取り組んでいます。年内には議会の常任委員会に報告したいと思っています。

町税条例の一部改正

議員 今回の改正の要点は

税務課長 地方税法等の上位法令の改正に伴うものです。主な改正点は、まず、正当な理由なく町民税等を申告しなかった場合の過料が3万円以下から10万円以下に引き上げられるのですが、他市町と同様に、福崎町も過料を定めていませんので対象者はありません。もう一点は、寄附金税額控除で、現行の社会福

社協議会以外に、NPO法人も対象にするというものですが、別に条例で指定する必要がありますので今後、県や他市町の動向を見ながら検討します。





任期
平成24年1月1日～
平成26年12月31日

生年月日
昭和26年5月30日

氏名
玉置 明美

住所
福岡町八千種
200番地

人権擁護委員
の推薦に同意



任期
平成23年10月1日～
平成27年9月30日

生年月日
昭和33年8月26日

氏名
石川 治

住所
福岡町福岡新
295番地2

教育委員会
委員の再任に
同意

請 願

高校 姫路・福岡学区を広げないように求める

件 名	請願者の氏名	紹介議員	本会議の結果
兵庫県教育委員会に対し、「他学区との統合などにより姫路・福岡学区をこれ以上広げないことを求める意見書」の提出を求める請願	兵庫県教職員組合 中播支部 支部長 山崎又希人	小林 博 難波靖通 牛尾雅一	賛成多数で採択 (賛成12：反対1)

要旨

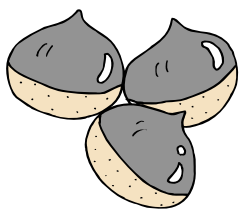
学区の拡大は、緩和に向かつていた受験競争を再び激化させる危険性があるだけでなく、遠方の高校への通学は生徒・保護者に経済的・精神的・肉体的負担を負わせることにつながるほか、一部の高校に生徒の希望が集まり、高校間格差が拡大することも予想される。義務教育のみならず高校も地域住民の財産であり、地域の子どもの教育を保障する場でもある。

意見書 県教委へ提出

他学区との統合などにより
姫路・福岡学区をこれ以上
広げないことを求める意見書

るため、「地域の子は地域社会全体で育てる」という理念が尊重されるべきである。
よって、生徒たちが過重な負担を負うことなく学びたいことが学べ、地域の学校に進学できるよう、関係機関に次の事項について意見書を提出する。
① 姫路・福岡学区と他学区との統合を行わないこと。

《仮称》田原幼稚園建設 順調に進む



《仮称》田原幼稚園建設工事は10月25日現在で24%の進捗となっており、当初の予定どおり順調に進んでいるとの報告を受けました。
10月26日には土間コンクリートが打たれ、今後、1階の梁（はり）、柱の鉄筋や型枠の組み立てなどが進められていきます。



行政視察

10月11日・12日

鹿児島県志布志市・鹿屋市柳谷地区



志布志市での行政視察（10月11日）

鹿児島県志布志市へは「共生・協働・自立のまちづくり」について、また鹿屋市柳谷地区へは「行政に頼らない勇気ある村おこし」について行政視察を行いました。
志布志市は市内21地区に「ふるさと委員会」を設置し、行政から補助金を受けて地域が必要とする事業を地域が自ら推進されていましたが、年間約1000万円の経費を要するほか、地域間の温度差があることも課題とされます。

対照的に、鹿屋市柳谷地区は行政からの補助金に頼らない地域活性化を目指し、地域の住民が地域の課題に向き合いながら知恵を出して取り組み、今ではテレビでも取り上げられるなど、活性化の成功例として注目されています。

委員長	東森 修一
副委員長	釜坂 道弘
委員	志水 正幸
委員	富田 昭市

公害防止協定の遵守を求める



現地調査（西兵庫㈱）（8月4日）

違反企業の現地調査を実施

公害防止協定の申請がされない状況で事業着手された(株)デービー精工福崎工場の現地調査を行い、公害防止協定を遵守するよう求めました。その後、委員会に対し事業申請があり、審議の結果、全員賛成で了承しました。また、排水異常の原因

及び再発防止対策報告書が提出されない西兵庫(株)に対し、町長名で勧告がなされたため現地調査を行い、報告書の提出、排水設備の改善を求めました。その後、排水設備の改善を行い、排水基準を下回ったと報告を受けました。

文珠荘の指定管理者(株)輝の22年度事業収支報告

(単位：千円)

勘定科目	21年度	22年度	比 較
売上高	66,872	65,512	△1,360
売上原価	22,286	25,197	2,911
売上総利益	44,587	40,315	△4,272
販売・一般管理費	50,840	52,292	1,452
営業利益	△6,254	△11,977	△5,723
営業外収益	9,684	8,060	△1,624
営業外費用	60	109	49
経常利益	3,370	△4,025	△7,395

(千円未満四捨五入)

文珠荘の指定管理者である(株)輝の22年度事業収支報告を受けました。議員から風呂の清掃状況について質問があり、浴槽は一週間に1回入れ

替え、その他は毎日実施していること、またそのことに対する住民からの苦情は聞いていないとの答弁がありました。

東北地方で出荷された牛肉の流通について、7月23日の兵庫県の記者発表の内容が報告されました。

西宮市食肉センターに出荷された192頭は、食品衛生法の暫定規制値を超えた牛肉はなく、仮にこの牛肉を1kg食べたとしても被ばく量は0.07ミリシーベルトであり、基準値の5ミリシーベルトをはるかに下回っているため健康上の問題を心配する必要はないとのことでした。

東北産牛肉についての兵庫県の記者発表

委員長 難波 靖通
副委員長 牛尾 雅一
委員 小林 博
委員 高井 國年
委員 松岡 秀人

長野県伊那市と辰野町へ行政視察

里山整備・ため池を利用した地域づくり

憩いの場としてもため池を活用―辰野町

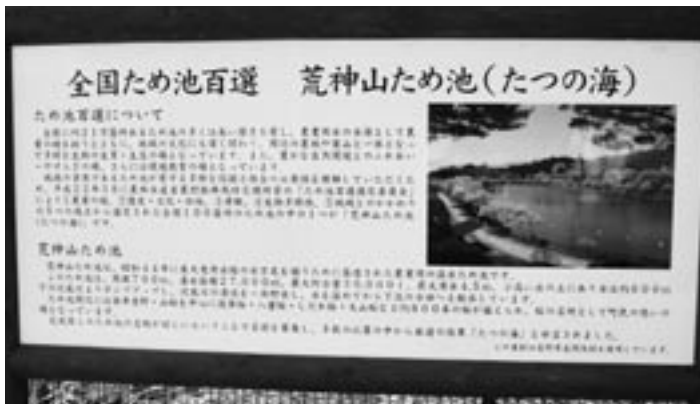
8月10日と11日の両日、長野県辰野町と伊那市へ行政視察を行いました。

辰野町では、ため池を活用した地域づくりについて調査しました。

ため池百選に選定された荒神山ため池（たつの海）は、昭和44年に東竜用水路の水不足を補う

ため、小高い丘に築造された農業用温水ため池で、周囲700m、最大水深4.5m、ポンプアップで貯水するというものでした。現在では農業用としての役割は生産調整等によって小さくなり、貯水量も年間を通しポンプアップによらずとも増減幅は

小さいとのことでした。また、池の周囲が山林であることを活かし、各種の桜を約800本植えたり、周囲にはスポーツ公園、美術館、宿泊施設等が一体的に整備されていることが特徴的でした。



辰野町の荒神山ため池



他自治体と連携して森林整備―伊那市

伊那市は、南アルプスと中央アルプスに囲まれている、南方向以外は山並みという地形です。これまでも森林整備に力点が置かれてきましたが、長野県の森林里親制度を活用し、平成20年2月に東京都新宿区と「地球環境保全のための連携に関する協定書」を締結し、①CO₂（二酸化炭素）削減の吸収量増加を目的として森林の保全整備をはかり、②新宿区の子どもたちが整備された森林で体験学習を行うなど、自治体間相互にメリットがある仕組みがつけられました。



伊那市での行政視察（8月10日）

さらに、平成21年5月に森林整備に関する協定を新宿区と締結し、カーボンオフセットの自治体間での取り組みとして環境省、林野庁からも評価を得ているとのことでした。

景観の保全、防災や環境教育なども含め、多面的な効果が生まれることなど、実践的な取り組みといえるでしょう。

委員長 石野 光市
副委員長 福永 繁一
委員 北山 孝彦
委員 宮内 富夫
委員 吉識 定和

ここが聞きたい

一般質問

8人の議員が「町政を問う！」

議員にとって「一般質問」は、公の場である議会で、議案に関係なく町長の考え方や町政をただす大切な場です。



嶋田町政の5期目への挑戦！その決意は？

駅前周辺整備事業などの懸案事業に取り組みます



志 水 正 幸

問 嶋田町政の16年間で、顧みると、下水道事業の整備、学校の耐震化工事や中学生の医療費の無料化など、極めて重要な施策を実施された。12月の町長選に勇退の噂から、突如出馬表明された。出馬に至った決意は。

町長 駅前周辺整備事業や多くの懸案事項が山積していることから、地域の絆を大切にしながら、住民ニーズに沿った「まちづくり」の構築に全力を傾注するために、改めて出馬を決意しました。

問 町民の生活は、他の市町と比べて豊かになっているのか。

税務課長

本町の住民の所得は県下41市町で20番目の水準、平均所得は約285万円で、平均的な位置づけとなっています。

問 成人になっても就職できない男性は、平成17年度の国勢調査では413人が無職者である。今後の雇用対策は。

副町長

この対策は国・県に委ねる部分が多いですが、町としても雇用情報発信や工業団地協議会に正規雇用の増員につ

いてくり返し要望しています。

問 各種の委員会や審議会等に女性はいくらいい登用されているのか。

企画財政課長 41の委員会等で、女性は138人（26％）です。今後は30％の登用をめざします。

問 女性委員会の活動として、女性の視点や考え方に沿った政策提案を求めています。

総務課長 今後、会議の進め方を含め研究します。



議会で議案の説明をされる嶋田町長

なぜ、給食への異物混入が度重なるのか

たびかさ

反省しています



吉 識 定 和

問 6月議会で質問した給食の米飯への「ナメクジ」混入事件は、その後の委員会でも最近2年間の異物混入状況が報告された。前議会での教育長の答弁は、校長在任中にも発生していたとのことであつたが、指摘するまで報告も一切なかった。議会への報告も含めて、正常運営はどうあるべきなのか。

教育長 情報を隠すつもりはありません。業者も材料をよく点検して調理しており、子どもの心と体の健全な成長を願って給食を作っています。反省しています。

問 前の岡本教育長時代に指摘したが、福岡東中学校での長い年月にわたる、配管の老朽化による水道水漏水事件があつた報告によると、今回も最近2年間だけでも給食への異物混入は度重なつて起こっている。長期間、厳正な対処がされなかつた点で同根の問題と考える。組織・風土に問題がある。組織・風土に問題がある。組織・風土に問題がある。

問 あり、無責任な体制である。問題を放置したままにしているのは、トップまで情報があがつてこないのか。危機は必ずやってくる。そのときはリーダーの的確な判断や指示が必要だ。

教育長 情報が上がってきた段階で、一所懸命に対処しています。



給食の風景

操法練習場のため西中に夜間照明を！

よく検討したいと思います



福 永 繁 一

問 有害鳥獣の数も現在県内で20万頭といわれている。この実態をどう考えているのか。

産業課長 駆除活動は猟友会に委託し、会員の中から選任された16名の駆除班が一年を通じて活動しています。

問 福岡市の有害鳥獣の状態はどのようになっているのか。

産業課長 里山等を整備し、里に有害鳥獣が出てこない工夫も必要です。今後、猟友会には助成を行っていきます。

問 高岡地区はたくさんの猪・鹿が出ており、駆除に猟友会が暑い中でも

頑張っておられるが、町行政はどうなっているのか。

産業課長 被害が出てから駆除活動を行っているますので遅れてきます。全体の駆除活動について検討会に話を出したいと思っています。

問 三獅子山という名前をよく聞く。中でも辻川山は多くの方々が散策されているが、文殊御山・大門宮山は道の草等で環境が良くないためか散策が少ないと思う。町民が

四季を通じて親しめるコースにできないか。

産業課長 三獅子山の散策ルートは、現在も歴史ウォークぶらつと辻川界隈と三獅子山を巡るパンフレットを作り、コースの案内をしています。

問 消防団西部支部の練習場のため、西中に夜間照明を付け、少しでも近い練習場所ができればと思うが。

町長 よく検討したいと思います。



8月の暑い中にもかかわらず有害鳥獣の駆除に頑張る猟友会（田口にて）

公契約条例の積極的な検討を

国の動向を見、近隣市町とも連携し検討したい



石野 光 市

く後継者が育ちにくいことが社会問題となっている。

千葉県野田市に続き、川崎市でも公共工事の労働者賃金を保障する条例改正などの先進事例を学び、積極的な検討を求めているがどうか。

企画財政課長 公共工事

の落札率が下がり、労働者賃金に波及している問題は是正すべきと考えます。国の動向を見、近隣市町と連携し対策を検討していきます。

問 ため池百選に選ばれ



長池の弁天島

た西光寺野台地のため池群以外にも景観等がすぐれた池があるが、道路案内標識や池の名称を周知するため、池へ標柱等を設置してはどうか。

産業課長 事故通報のためにも、町内52力所の防災ため池に標柱の設置を検討します。

問 長池の①弁天島②北

東部の町道の修復は

産業課長 ①県補助があり関係機関と調整中です。②地元と調整していきたいと思います。

防災行政無線で避難勧告は聞こえたか

地域の方々等にお尋ねします



宮内 富 夫

問 9月4日午前1時30分

防災行政無線により避難勧告が町民向けに出された。深夜であったが、全体に行き渡ったのか。

総務課長 非常時の情報

発信の大きな柱は防災行政無線ですが、区長さんへ個別電話連絡を行い、消防団も献身的に周知に努めてくれました。また、防災行政無線と同じ内容を登録者にメール配信し、テレビ・ラジオ局にもフ

アックスし、情報が放送されました。

問 深夜でもあり、雨が降っていて窓が閉められていた状況で、町民がいちばん信頼している防災

行政無線は聞こえたのか。聞き取りが困難であったとなれば、次にメールなどによる伝達になると思うが、まず災害時には防災行政無線ではないか。情報伝達手段としての効果を地域の方々から聞いてほしい。

総務課長 防災行政無線の効果については、地域の方々にお尋ねしたいと思います。次の情報伝達手段としては、メールやテレビになると思います。



神崎橋の水位計

すべての小中学校に司書教諭の発令を

資格を持った教師で対応します



富田 昭市

問 今年度から言語力を

うたった新しい指導要領がスタートしたことにより、学校図書館の役割はこれまで以上に増えている。町内の小中学校6校では、学校図書館の司書教諭の発令状況は整っているのか。

教育長 司書教諭の発令

はしていませんが、子どもたちが図書室を利用する時には先生が子どもたちに説明し、本の貸し出しや推薦もしています。

問 学校図書館には標準の蔵書数が決まっているが、各校の冊子数の達成状況は大丈夫か。また古くなった本は廃棄し、新

しい本に入れ替えるよう求めるが、計画を伺う。

学校教育課長 標準冊子数が未達成の学校もありますが、今年度の予算で達成するようにします。

古くなった本は、順次入れ替えています。

問 教育委員会では、子どもたちの読書状況をどのように認識し、向上対策を議論し、具体的な対策をどのように進めているのか。

教育長 町立図書館と連



放課後の学校図書館（福崎小学校）

携を取りながら図書の提供を受けたり、読書時間の確保、図書室の環境整備もしていきます。

問 学校図書館を地域住民の文化施設と位置づけ放課後や週末に児童や生徒、地域の大人にも開放することはできないか。

教育長 地域の要望や活動の取り組みが高まれば、学校図書館を開放することもいいことだと思えます。

こっふく苑の中庭に屋根と囲いを

姫路市に伝え検討し、努力は積み重ねたい



牛尾 雅一

問 最近の社会情勢など

により、こっふく苑で告別式等を行いたいと考える方が多いが、式場が狭く利用しにくいので、式場の続きのタイル張りの中庭に屋根と簡単な囲いを要望される多くの町民の方々がおられる。できないのか。

町長 福崎町だけの施設

ではないので、一町でどうこうすることはできませんが、姫路市に伝え検討し、努力は積み重ねていきたいと思えます。

問 年間約4700人利用されている、春日ふれあい会館前のグラウンド

に夜間照明、雨よけの簡単なものや、軟式野球のボールが越さないネットの増設が必要では。

産業課長 周りに高い鉄

塔などがあり、雷対策としてはタッグアウト的なものは考えていきたいと思

います。夜間照明の増設は今のところ考えていませんが、ネットの増設は専門家の意見を聞き、対応したいと思

問 9月3日、4日に



こっふく苑のタイル張り中庭

けての台風12号により、町内でも床下浸水16件をはじめ、多くの被害が発生した。今回、JR福崎駅周辺では被害が少なかつたが、直谷川を山崎地区で分水し、川端川を利用して直接市川へ流す事業の認可の進捗状況は、

下水道課長 今年中に事業認可を取得し、その後

詳細設計に取りかかりたいと考えています。

将来にわたり、現在の福崎町の姿を！

今の福崎町を維持したい



小林 博

問 平成の大合併に飲み込まれず福崎町を守れたのは良かったとの声が多い。姫路市が政令指定都市への志向を強くしている。地域力が教育を含む全分野で強調される中、身近に意思決定できる現在の福崎町の姿が好ましいと考えるがどうか。

副町長 姫路市からは現在、何もありません。今の福崎町を維持したいと思っています。

問 高校学区制問題での教育委員会の態度は

教育長 今の姫路・福崎学区を守ってほしいと思います。

問 教育関係の民間委託

や非正規雇用形態では教育効果を維持発展させるには限界がある。行政の責任を維持すべきだ。

社会教育課長 できる限りそうしたいと思っています。

問 台風12号及び15号の被害概況と復旧の見込みは。関電ダムを含む状況報告は適正にあったか。調整池の状態確認と澄藻等日常管理は。水害常襲地帯の対策を急ぐこと。急傾斜地対策事業の2期は連続して行われるか。

まちづくり課長 公共災害復旧は行政で行います。ダム等は調整機能が働きました。急傾斜地対策事業は強く要望しています。産業課長 農林関係は激甚災害認定ですが、農地50%、施設65%を基本に調査設計後となります。町補助は検討します。

問 矢口での乱開発地が新たに開発認可となっている事情は。

副町長 原形復旧命令の施工を優先させています。委員会でも現場調査をお願いします。



矢口周辺（高岡地区）

議会インタビュー



9月29日・本会議を傍聴されました！

「福崎町女性委員会」

（委員長 日野 あき美さん）

しました。

平成22年度は大庄屋三木家・福崎浄化センター・福伸電機(株)西治工場の施設見学や、町長・担当課長による町財政や福祉関係等の講演、町長との意見交換を行い、女性の視点での問題提起や要望を行いました。

また、2月にはひめじ防災プラザ・消防司令センターへの視察研修も行っています。

本会議を傍聴された感想は

台風による災害の直後の傍聴だったため、委員の関心も深かったようです。

一般質問を傍聴しましたが、委員のなかから、「道路問題や駅前開発のことなど、もう少し詳しい質問や答弁が聞けたらよかった」という意見がありました。また、質問されている議員は一所懸命に、またその他の議員は静かに耳を傾けておられました。

これからの方向は

昨年に設置され、活動を始めたばかりですのでまだまだ幅広い活動はできていませんが、女性の視点を活かして活動していきたいと思っています。





町内の秋の風景



学童農園のかかし



ツノナス(上段) コスモス(下段)

わたしむむむ

県民交流広場の有効活用を

八千種地区 60代 男性

八千種地区に、県民交流広場の立派な施設ができました。

この施設は、地域住民相互の交流、長寿社会における生きがいづくりの場として、また子どもたちの学習や情報の収集・発信の場として、さらには地域活性化のために活用できる施設で、趣味や娯楽の会などの各種団体・グループの研修会、講演会等、誰でも、いつでも気軽に利用できるものです。

しかし、利用件数はまだまだ少なく、有効に活用されていないようです。

その原因としては、各区に推進委員がおられるようですが、誰に申し込んだらよいのか、申し込み方法はどうするのかなど、情報不足があるのではないかと思います。

せっかくの施設ですので、もっと利用しやすくなればよいと思います。

お知らせ

写真と「わたしむむむ」の原稿を募集しています。

写真は町内の最近の風物(景色、行事等)を写したものの、「わたしむむむ」は町政、議会に対する意見や願いを(短文で可)。写真、原稿等はEメール、郵送で下記までお送りください。

なお、提出された写真、原稿等は返却しませんので、ご容赦ください。次回の締切日は12月28日(水)です。

編集後記



10月の秋祭りは絶好の天気に恵まれ、町内4カ所で荘厳かつ豪快な屋台の宮入りや練り合わせが行われました。地域が一体となり、日々の重苦しい雰囲気吹き飛ばすような勢いのあるものとなったことでしょう。表紙の写真は先日、高岡保育所で行われた「おまつりごっこ」の様子です。小さな屋台ですが子どもが乗り込めるようになっており、本物顔負けの屋台です。議会広報編集委員会も新しい体制となりました。今後も皆さまに親しんでいただける紙面づくりに努めてまいります。

◆議会広報編集委員会

委員長	牛尾 雅一
副委員長	石野 光市
委員	北山 孝彦
委員	志水 正幸
委員	難波 靖通

ふくさき議会だより第120号
平成23年11月17日 発行

発行／兵庫県福崎町議会
編集／議会広報編集委員会
印刷／中井総合印刷株式会社

〒679-2280 兵庫県神崎郡福崎町南田原3116-1
TEL:(0790) 22-0560 FAX:(0790) 22-2342
ホームページ: gikai.town.fukusaki.hyogo.jp/

この広報誌は再生紙を使っています。